Syllabus Id	Syl102011		
Subject Id	Sub102007120		
更 新 履 歴	10326 新規		
授業科目名	英語(選択:英語) English (English)		
担当教員名	勝呂 讓 (Suguro, Yuzuru)		
対象クラス	全学科 5 年生		
単 位 数	2 履修単位		
必修/選択	選択		
開講時期	通年 (H. 22)		
授 業 区 分	語学		
授 業 形 態	講義		
実 施 場 所	選択制教室 2		

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

国際社会における英語の重要性に鑑み、日本の中堅技術者に求められる実用的な英語能力の修得を目指す。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英検準2級試験問題で75%以上の正答を得る能力を持っていること。

	Weight	目標	説明
		Α	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		В	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
学習・教育目標		С	工学専門知識の創造的活用能力の養成
3-10 4VB 11W		D	国際的な受信・発信能力の養成
		Е	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑚を継続できる能力 の養成

学習・教育目標 の達成度検査

- 1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
- 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
- 3.目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

- 1. TOEIC で 450 点を取得するのに必要なレベルの英語を聞きとることができるようになる。
- 2. 英検2級の筆記問題で60%の正答率を得るための文法・構文能力を修得する。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

	メインテーマ	サ プ テ ー マ	参観
第1回	前期オリエンテー ション、実力判定試 験	プログラムの目標、授業概要、スケジュール、評価方法、受講にあたっての諸注意等の説明および伝達	
第2回	Unit 1, 1st Day	TOEIC 用リスニング演習、英検筆記テストの出題形式&攻略法	
第3回	Unit 2, 1st Day	II .	
第4回	Unit 3, 1st Day	II .	
第5回	Unit 4, 2 nd Day	TOEIC 用リスニング演習、頻出単語の復習・確認	
第6回	Unit 5, 2 nd Day	II .	
第7回	Unit 6, 2 nd Day	II .	
第8回	前期中間試験		×
第9回	答案返却、解説		×
第 10 回	Unit 7, 3 rd Day	TOEIC 用リスニング演習、頻出単語の復習・確認(続き)	
第 11 回	Unit 8, 3 rd Day	II .	
第 12 回	Unit 9, 3 rd Day	II .	
第 13 回	Unit 10, 4th Day	TOEIC 用リスニング演習、重要文法事項の復習・確認	
第 14 回	Unit 11, 4th Day	II .	
第 15 回	前期末試験		×

第 16 回	答案返却、解説		×
第 17 回	Unit 12, 4th Day	TOEIC 用リスニング演習、重要文法事項の復習・確認(続き)	
第 18 回	Unit 13, 5th Day	TOEIC 用リスニング演習、読解問題の攻略法	
第 19 回	Unit 14, 5 th Day	II .	
第 20 回	Unit 15, 5 th Day	II .	
第 21 回	Unit 16, 6th Day	TOEIC 用リスニング演習、リスニングテストの出題形式&攻略法	
第 22 回	Unit 17, 6th Day	II .	
第 23 回	Unit 18, 6th Day	II .	
第 24 回	臨時試験		×
第 25 回	答案返却、解説		×
第 26 回	Unit 19, 7th Day	TOEIC 用リスニング演習、重要会話表現の復習・確認	
第 27 回	Unit 20, 7th Day	II .	
第 28 回	7th Day	II .	
第 29 回	後期期末試験		×
第 30 回	答案返却、解説		×

課題

英検問題集に関しては予習を義務付ける。

オフィスアワー:特に設けることはしない。授業前後の休憩時間等を活用する。

評価方法と基準

評価方法

筆記試験は原則として、テキストの既習範囲から新たな問題を製作して出題する。評価は通年の試験得点の合計点と出席状況、受講態度、学習意欲、外部試験の結果等を総合的にみて判定する。学年末試験を特に重視するわけではない。

評価基準

テスト (定期試験および臨時試験)に基づく評価 60%、その他の資料、要因に基づく評価 40% 学習到達達成度自己評価 - 若干

教	科	書	等	『A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 』(南雲堂)735 円 『英検 2 級予想問題ドリル改定新版』(旺文社)
先	修	科	目	総合英語A、総合英語B、英語W、英語C
関: U		イト R	・の L	http://www.eiken.or.jp
		ンクの 対		真摯に受け止め、授業改善に資する。
備			考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。